



## 明光義塾 情熱空間グループ

ホームページURL

: <http://www.946jp.com/meiko/>

フェイスブックページ

: <https://www.facebook.com/jounetsukukan/>



2019.12月号

# 時事問題を振り返ろう

2019年も残り少なくなりました。入試問題は秋までに作成されることがほとんどのため、10月頃までの出来事からの出題が多くなります。どの教科でも時事問題を扱う可能性があるため、受験生は必ず確認しておきましょう。

	出来事	ポイント
4月	小惑星探査機「はやぶさ2」人工クレーター実験に成功	JAXA(宇宙航空研究開発機構)や「リュウグウ」と言われる「小惑星」、「クレーター」など天体に関する用語を調べておきましょう
	2024年から使用されるお札の顔発表	お札に使用される人名を確認しておきましょう ・渋沢栄一(日本の資本主義の父、銀行や企業設立に携わった) ・津田梅子(津田塾大学創立者、日本の女子教育の先駆者) ・北里柴三郎(日本の細菌学の父、ペスト菌の発見、破傷風の治療法開発)
5月	新天皇即位 元号が「平成」から「令和」へ	元号「令和」は日本最古の歌集「万葉集」を出典としています
7月	ユネスコ世界遺産に「百舌鳥・古市古墳群」が登録決定	関係する用語をおさえておきましょう ・UNESCO(国連教育科学文化機関) ・世界遺産の種類(文化遺産・自然遺産・複合遺産)
	参議院議員選挙、投票率48.80%	参議院選挙と衆議院選挙の制度の違いや一票の格差について調べると理解が深まります
9月	ラグビーワールドカップ開幕	優勝した南アフリカの地理歴史(鉱物資源の宝庫、喜望峰、マンデラ、人種隔離政策)について調べておくと理解が深まります
10月	消費税が8%→10%に	「軽減税率」が導入された目的や私たちが納めている税金の種類(直接税と間接税の違い)について理解しましょう

## 時事問題はどのように出題される？

時事問題は、社会科で出題されることが多くあります。



例：百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録に関連して、そうした登録・保護を推進する国連教育科学文化機関の略称を問う。  
(正解：UNESCO/2019年度・大阪府)

しかし、他教科でも時事に関連させた設問や、推薦入試などでの集団討論テーマ、小論文の課題などが見られます。

例：成人年齢を20歳から18歳に引き下げる民法改正について、「18歳成人」の利点と問題点を話し合う。(2019年度・東京都立高校推薦)

時事のキーワードを覚えるだけでなく、それについて自分の意見を考えるなどの対策をしておくようにしましょう。

2019年中に起こった出来事のほかに、2019年度やその前年度を中心にして、節目の年に起こった出来事もおさえておきましょう。

- 1429年(590年前) 琉球王国の成立
- 1549年(470年前) ザビエルが鹿児島に上陸し、キリスト教が伝来する
- 1889年(130年前) 大日本帝国憲法の発布 ※施行は1890年
- 1989年(30年前) 平成スタート、消費税3%導入
- 1999年(10年前) 裁判員制度の開始

こうした節目の年の出来事についての出題は、「周年問題」と呼ばれています。出来事に関連する地理や公民の内容を整理しておきましょう。

## 時事問題集で効率的に対策しよう！

時事対策本は、時事が分かりやすく解説され、実戦問題も付いているので入試に向けて効率的に学習を進めることができます。毎年秋になると時事問題集がいくつか発売されるので、手に取ってみるとよいでしょう。

## 情報提供にも努めます

先日、釧路愛国教室で実施した公立高校入試説明会の中でお話させていただきましたが、8月に教育委員会のHP内で学力検査問題研究協議会からの意見が発表になりました。この意見については、HPに掲載されているだけなので、知らない方がほとんどだと思います。今年の数学の意見の中に「受検者が計算の過程等を実際に書くことができる余白を十分確保するなど、問題冊子の体裁の改善を検討してほしい。」というものがありました。実際に来年度の入試から問題の体裁が変更になるかは不明ですが、変更があった場合、この情報を知っている人と知らない人とは試験中の精神状態が大きく変わってくる可能性があります。

受験時に全力を出し切るためにも、受験情報や教育情報も提供していける学習塾になれるよう、今後も情報収集をしていきたいと思えます。

釧路愛国教室 瀬賀 伸貴 TEL 0154-32-7870  
〒085-0051 釧路市光陽町14-8

## 食事とバランス

一年中ではありますが、特に秋から冬にかけての北海道の食べ物は美味しいものが多いと思います。きちんとバランスや食べ合わせを考えて作られた食事を摂ると免疫力も上がるので、美味しさで幸せになる上に病気に体力を奪われることも少なくなり、まさに一石二鳥ですね。

私は一人暮らしなので自分で料理を作ることが多く、食事は簡単に作れるものに偏りがちです。それですと不調が続いていたのですが、少し前にある方がバランスを考えて作ってくれた食事を食べたら頭の霧が晴れたような思いがしました。どうやらビタミン不足になっていたようです。

栄養も勉強もバランスが大事です。偏食(好きな教科ばかりに力を入れる)や食わず嫌い(最初から諦める)はやめて、前向きに摂り(取り)入れましょう。

釧路春採SC教室 平山 由香利 TEL 0154-65-6458  
〒085-0813 釧路市春採7-1-48

## 現役志向？

先日文部科学省より2020年度から実施される大学入試共通テストにおける英語外部資格の採用、及び共通IDの導入を見送るとの発表がされました。また、巷では共通テストの記述問題採点について公平性を欠くのではと懸念されています。

2019年度はセンター試験最後の年となります。そのため現高校3年生は浪人をする断然不利になるので、なんとしても現役合格をしなければならぬとの情報が飛び交っています。しかし、過去2度あった大学入試改革の時と同様、今回も浪人生が不利になる要素は大きくありません。情報弱者にならないよう気を付けていれば、むしろ有利になる要素もあります。

もちろん第1志望校に現役合格するのがベストですが、浪人を恐れすぎるあまり本来の夢を諦め、進路を曲げてしまわないことを切に願います。

釧路鳥取教室 藤井 聡史 TEL 0154-65-9933  
〒084-0907 釧路市鳥取北10-5-22

## 順序についての話

HClはH(水素)とCl(塩素)がくっついたものですが、日本語でこれを読むと塩化水素となります。NaOHは水酸化ナトリウムですし、NaHCO<sub>3</sub>は炭酸水素ナトリウムです。なぜか順序が逆ですね。ちなみにHClを英語で読むとhydrogen chlorideとなり、こちらは化学式と同じ順序です。英語と日本語とでは、住所や人の名前を言うときも順序が逆ですよ。どうやらこの二言語ではその文化や考え方の違いから、色々な順序になっているそうです。日本人が英語を勉強する上で気をつける必要がある部分ですね。

ややこしい順序といえば、スパカツです。カツをカレーにのせたらカツカレー、丼にのせればカツ丼なのに、なぜスパゲティにのせるとスパカツなのか。もしかしたら釧路人は英語圏の人々と同じ感性をもっているのかもしれない(笑)。

中標津教室 堀 正太 TEL 0153-74-0900  
〒086-1007 中標津町東七条南7-8 2F

## 頑張るべきときに、頑張れること (下)

たかが試験。されど試験。脳に汗をかく。「これ以上、もう仕上げられない…」そう思える限界まで、答案を仕上げることにこだわって、そうして全員が力を出し切ってもらいたい。人は、努力した経験、物事に打ち込んだ経験を大切にします。受験勉強もまた同じことであって、努力して打ち込んだ分だけ、「その後も大切にできるようになる」ものです。何の努力もしないで合格する。力を出し切って合格する。前者に価値はなく、後者にこそ価値があるものだと思います。

がっちり鍛えて送り出したならば、「学業不振を理由とした中途退学」というのは限りなくゼロにできるものです。成績不問、学力不問。今できることをやり続け、全力を出し切るのみです。さて、今年も受験勉強を通じて「泣く生徒」が出てくるかな…。辛くて泣き出したい。時に本当に泣いてしまう。そうした経験を積んだ子を、多く送り出したいものであります。頑張るべきときに、頑張れること。そのための訓練です。力を出し切ることを願っています。

株式会社 情熱空間 代表取締役 三木 克敏